

地域協学センターの開講科目講義特集1

地域協学センターでは、岐阜大学の学生が地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて行動できる人材として成長できるように、様々な講義やプログラムを全学共通教育科目として提供しています。今月の地域協学ニュースでは、地域協学センターが開講する講義の一部を紹介します。

フューチャーセンター 入門(月5限)

フューチャーセンター(多様な人たちが集まる「対話の場」)についての基本的な知識を習得し、グループワークを通じて自分たちで企画を立案・実施します。

産業協働型インターン シップⅠ(集中)

この講義は、後期に開講する産業協働型インターンシップⅡとあわせて受講することで、2回のインターンシップを通じて、企業のそれぞれの良さを比較し、俯瞰的に企業で働くことを学べます。

地域産業と企業戦略入門 -岐阜の企業を知る(月2限)

実際に企業を見学し、企業人の交流を通して、実践的な知識や社会性を身につけ、企業を見る目を養います。複数の企業との接点を持つことで、将来のキャリアに対する視野を広げます。



1 フューチャーセンター入門(月5限:全共棟2A教室)

講義概要

フューチャーセンターとは多様な人たちが集まる「対話の場」。受講生はフューチャーセンターに関する基本的な知識や手法を学び、グループワークを通じて自分たちでフューチャーセンターを企画します。企画は2回行い、1回目の反省を生かした2回目は学外の方も交えて実施します。立案した企画を現実に実施するには様々な段取りが必要です。授業を通じて自ら企画・立案し、それを実行する能力を身につけて欲しいと考えています。

最近のフューチャーセンター入門で実施した企画

■平成28年度

- 「みんなが参加したくなる学校行事とは？」
- 「渋滞を解消して快適な交通環境をつくろう」
- 「大学生活を楽しむためには」
- 「授業への姿勢を正そう！」
- 「岐阜大学が日本一になるには」
- 「あなたのための岐阜大学～岐阜大学と地域がもっと関わるには～」
- 「将来について考えよう」(岐大フェアin高山 学生企画として実施)
- 「いい人どまりにならないために、もうひと押しを考える」

■平成29年度前期1回目

- 「あなたにとって有意義な休みを考えよう」
- 「大人って何だろう～大人になるために今できることを考えてみよう」



平成28年度前期「みんなが参加したくなる学校行事とは？」



平成28年度後期 岐大フェアin高山「将来について考えよう」

企画立案・実施に必要なこと

- ①企画の目的設定...一番大事！これがきちんと決まらないと進みません。グループワークで話し合い、教員のツッコミに切り返しながらか企画の核になる部分を決めていきます。
- ②参加者集め...一番大変！目的がはっきりしたら企画内容を具体的に組み立てながら参加者を募ります。うっかり参加者を呼ぶために企画を考える、という本末転倒な状況に陥らないように...
- ③役割分担...企画当日、誰が何をやるのか丁寧に確認しておきましょう。何とかなるかもしれないけど、人事は尽くしてから天命を待ってください。

後期も開講します！(月5:全共2A教室)

ぜひ受講してみてください♪

2 産業協働型インターンシップ I

講義概要

インターンシップとは、企業へ実際に行き、就業体験をすることを指します。この講義では 1 週間程度のインターンシップへの参加を通じ、企業で働くことをイメージし、俯瞰力（状況把握力）、共同推進力（人間関係構築力）などの必要な能力を理解し、自ら目標を設定し、今後の大学生活を通して、主体的に取り組み、改善できるようになることを目指します。授業は、事前研修会などの座学と、インターンシップ（実践）への参加で構成されています。

今年度の授業の様子

- 5月10日 チームで成果を出すとは？
- 5月17日 良いインターンシップとは何か、グループで考えよう
- 5月31日 良いインターンシップに必要な準備は何か、考えよう
- 6月21日 実際に企業の人話を聞いてみよう

講義を受講する・インターンシップについて知るには？

産業協働型インターンシップ I・II は前期と後期で開講しています。どちらから受けてもらっても大丈夫のように、講義は設計してあります。9/13には、他のインターンシップを受講した学生と合同での成果発表会も予定しています。インターンシップに興味があるなら、まずは成果発表会(日時:9/13 14:00～、会場:岐阜大学サテライトキャンパス)の参加をオススメします。

□学生からのオススメポイント(地域科学部2年 近藤李美さん)

インターンシップに行く前に何をすることが大事であるとわかりました。大学生活において、バイト、授業など与えられたものをただこなすだけが多いが、社会に出ると自分から見つけて行動しなければならないことを学びました。そのために、普段から主体的に行動することを心がけようと思うようになりました。



過去にインターンシップに行った学生からの発表を通じ、インターンシップの理解を深めます。



グループワークで自分たちが考えながらインターンシップに向けて準備を進めていきます。



企業への理解を深めるため、合同企業説明会へも講義の一貫で参加しました。

3 地域産業と企業戦略入門-岐阜の企業を知る(月2限:地域棟201教室)

講義概要

この授業では、主に岐阜県内の産業を題材に学び、実際に企業見学と企業人との交流会も実施します。他大学からのゲスト講師もお招きし、知識を深めた上で、実際の企業の現場を知り企業人と交流し、知識や社会性を自分のものとして体得してもらいます。また複数の企業との接点をもつことで自身のキャリアに対する視野を広げます。

今年度の授業の様子

- 4月24日 日本福祉大学の遠藤准教授から、経済学について学びました。
- 5月8日 中部大学の清水教授から、マーケティングについて学びました。
- 5月24日 3つの班に分かれ、製造業と非製造業の企業を見学に行きました。
- 5月31日 企業見学会の感想を5~6人で共有し合い、7月5日の交流会に向け、企業の方に学びの成果を発表する準備を開始しました。

講義を受講する・企業見学会に参加するには？

「地域産業と企業戦略入門-岐阜の企業を知る」は前期と後期、それぞれ同じ内容で開講しています。今年度は、後期で履修登録していただければ参加可能です。また、地域協学センターの主催する企業見学会は岐阜大学の学生であれば、無料で参加できます。詳細はセンターのHPをご覧ください。

□担当教員からのオススメポイント(地域協学センター 松林特任助教)
企業を見るポイントが分からなければ、工場を見ても「大きいなあ」、といった感想で終わってしまいます。自分自身でこれは良い企業だと判断できる企業を見る目を養えるのがこの講義の良いところです。



2017/5/8(中部大学)
清水教授によるマーケティング講義



2017/5/24
企業見学会(エヌテック株)



2017/5/24
企業見学会(大進精工株)